

日本電気硝子とLTCC 事業に関する合弁会社を設立

～ LTCC 製品の素材開発から製品製造までの一貫生産体制を実現 ～



LTCC マテリアルズ株式会社（イメージ）

株式会社ヨコオ（本社：東京都北区、社長：徳間孝之）は、このたび、日本電気硝子株式会社（本社：滋賀県大津市、社長：松本元春）とLTCC（Low Temperature Co-fired Ceramics：低温同時焼成セラミックス）※1 の製造、販売を目的とした合弁会社「LTCC マテリアルズ株式会社（本社：群馬県富岡市、社長：坂本明彦）」を設立します。

本合弁会社の設立により、素材開発から製品製造までの一貫生産体制を実現することが可能となり、よりお客様の幅広いニーズに適合した製品をより迅速にお届けすることが可能になります。

LTCC 製品は、優れた電気特性（低誘電・低抵抗など）に加え、樹脂基板などに比べて多層化・高密度化が実現できることなどから、LED 用パッケージや通信モジュール、半導体検査に使われるプローブカード※2 用基板など、自動車、通信機器分野の他、半導体検査工程など、幅広く用いられ、今後も市場の成長が見込める製品です。

当社は、長年培ってきたセラミック技術を応用して、「半導体検査機器用基板」、「高周波デバイス評価用基板」、「LEDを中心とした電子デバイス用基板」などのLTCC製品を市場に供給してきましたが、その材料であるグリーンシート※3 は外部調達に依存していました。

今回設立する合弁会社は、日本電気硝子株式会社の無機材料開発技術・生産プロセス技術と当社の高密度多層配線設計技術・LTCC精密焼成技術を融合させることにより、グリーンシートの調達から素材の開発、製品製造までを一貫した生産体制を実現することができ、よりお客様の幅広いニーズに適合した製品をより迅速にお届けすることが可能になります。

当社は、現中期経営計画で事業進化と事業の重層化の推進を掲げています。

本合弁会社の設立は当社基幹事業群への経営資源集中投資と、無機材料系要素技術強化を、アライアンスにより加速しようとするものです。

<参考資料>

<合併会社の概要>

社名： LTCC マテリアルズ株式会社 (LTCC Materials Co., Ltd.)
所在地： 群馬県富岡市七日市 1299 番地
合併当事者： 日本電気硝子株式会社 (出資比率 70%)、当社 (出資比率 30%)
合併会社設立日： 2019 年 10 月 1 日
代表者： 社長 坂本明彦
資本金： 3.15 億円

<日本電気硝子株式会社の概要>

創立： 1949 年
資本金： 321 億円 (2019 年 3 月末現在)
本社所在地： 滋賀県大津市晴嵐二丁目 7 番 1 号
事業内容： 特殊ガラス製品の製造・販売およびガラス製造機械の製作・販売

【語句説明】

- ※1: LTCC…Low Temperature Co-fired Ceramics: 低温同時焼成セラミックス。電気抵抗の低い銀または銅を導体として使用したセラミックス多層回路基板の一種。銀や銅は融点が低く、一般的なセラミックスの焼成温度(1300℃前後)では使用できない。そこで、低温(約 900℃)で焼成できるようにセラミック材料に特殊なガラスを混ぜて作られる多層回路基板が必要になる。セラミックスの耐熱性を利用した自動車用や多層・高密度化による小型・高性能が求められる通信機器分野に多く使用されている。
- ※2: プローブカード…半導体検査工程において、製作された IC や LSI の電気特性検査に使用される治具。
- ※3: グリーンシート…ガラス粉末とセラミックス粉末を、有機バインダーを使ってシート状に成形した未焼結品。LTCC 製品はこのシートを多層化・焼成することによって作られる。

★本件に関するお問い合わせ先
広報・株式部
TEL: 03-3916-3111